

心齋橋大学 2022年度 春期開講コース・ゼミのご案内

本紙に、春期の開講講座についてご紹介致します。ご不明点や確認事項がありましたら、お気軽にスタッフにお声掛け下さい。メール・お電話でも随時お答え致します。

ご希望の受講クラスについては、別紙にご記入の上、事務局にご提出下さい。春期入学生も迎えますので、お早目のご提出をお願い致します。

お申込みは、4月15日迄にお願いします

ご登録内容の確認（別紙又はフォーム送信）は、皆様ご協力願います

この春の News !

- ◇ 本科小説コースの担当に、小説家の蓮見恭子先生が加わって下さいました！
- ◇ 大学院に北野勇作先生のゼミ（小説）（春のみ開講）を新設します！
- ◇ 大学院に武部好伸先生のゼミ（エッセイ）（春のみ開講）を新設します！

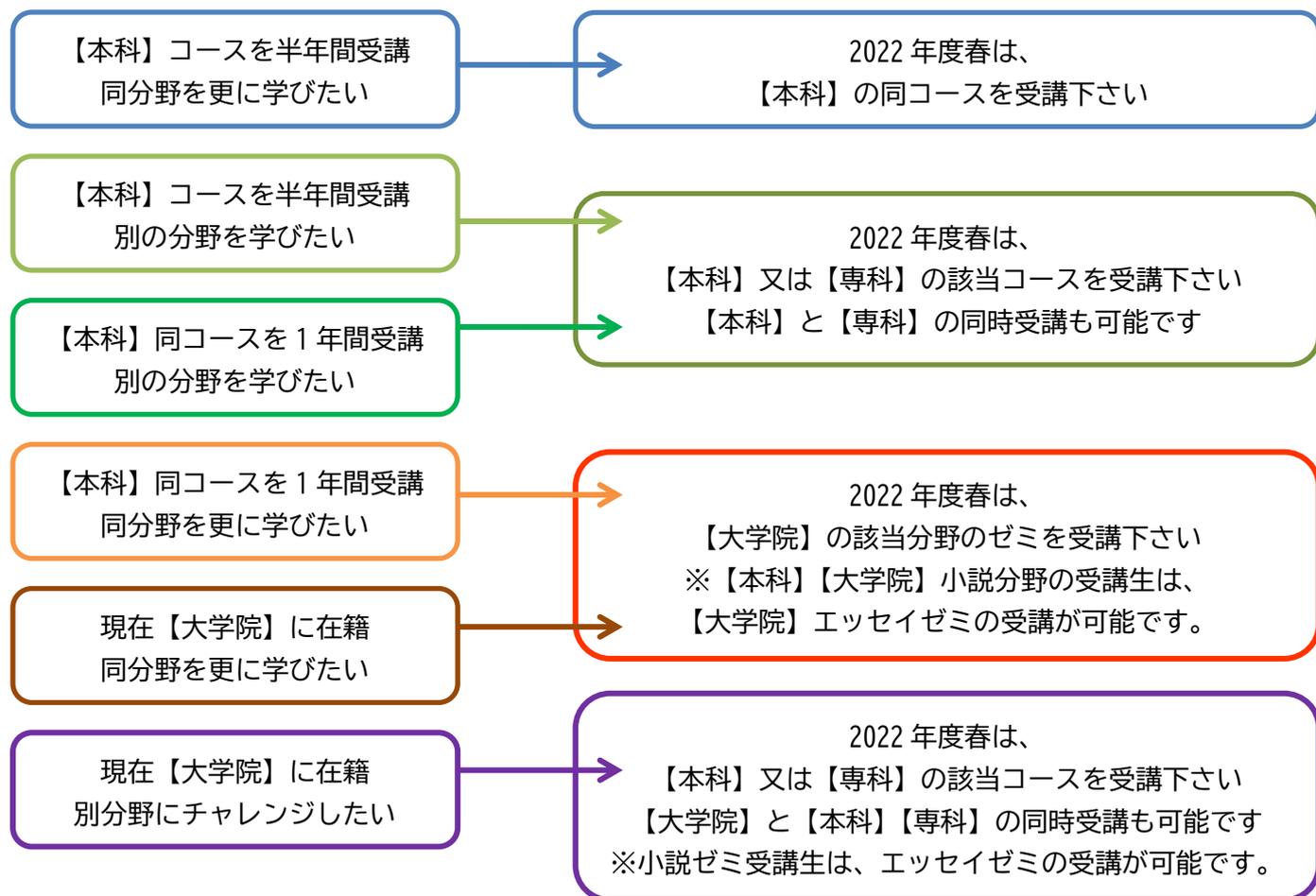
● 受講の目安・フローチャート

【本科】の上位クラスとして、【大学院】があります。【本科】と【大学院】は、春期と秋期の同時期に開講し、公開講座や特別講義等のイベントを合同で行うなど、カリキュラムも連動しております。

【専科】は【本科】【大学院】と連動せず、開講時期・期間も様々です。

【本科】の各コース担当講師は、春期と秋期で交代します。1年間学んで頂くことで、より多くの講師の指導を受けて頂くことが出来、筆力アップにつなげることが出来ます。

【大学院】には複数の講師のゼミがあります。各ゼミは月に1回ですので、組み合わせて受講頂くことで、ご自身なりのペースで学び続けて頂く事が出来ます。また、春と秋で開講するゼミが異なります。



●受講タイプについて… 来校受講・オンライン受講・ビデオ受講

本科と大学院では、講義ごとに、「来校受講」「オンライン受講」を選択頂けます。ご都合や体調に合わせて受講タイプを選択なさってください。また、ご欠席時には講義を録画した「ビデオ」を配信しますので、無理なく、無駄なくお続け頂くことができます。【対応コースを示します】

○オンライン受講について（Zoomを使用します） 【本科】【大学院】【専科：開高健】

インターネット環境と、パソコンやスマホ等あれば、ご自宅などからリアルタイムで講義に出席頂けます。接続テストをご希望の方は、お気軽にご相談下さい。オンライン教室 ID 等、受講方法については、開講時に改めてご案内致します。

○ビデオ受講について 【本科】【大学院】【専科：放送作家】【専科：開高健】

来校、オンライン受講もご無理な方には、講義を録画してインターネット配信致します。視聴用 URL とパスワードをメールでお知らせしますので、ご自宅でご都合の良い時にご覧下さい。

●公開講座・特別講義について

本科・大学院では、書くこと、創作することを広く学んで頂く為に、特別講義と公開講座を設けております。◎特別講義と公開講座は、各コースの開講曜日に関係無く、全校合同で実施致します。

○特別講義について 【本科】【大学院】

著名な作家をはじめ映画監督、編集長、ディレクターなどメディアで活躍している方々を講師としてお招きします。様々な分野から、広い知識を得ることを目的に行います。

(過去にお招きした講師：川上未映子氏、姫野カオルコ氏、鎗木蓮氏、長嶋有氏、村田沙耶香氏、吉村萬吉氏、黒川博行氏、朝井まかて氏、木下昌輝氏、角田光代氏 など)

【実施回数】年に2回程度（春期1回・秋期1回）を予定

【受講対象】本科受講生・大学院受講生 ※専科のカリキュラムには含まれません。

○公開講座について 【本科】【大学院】

皆様の好奇心を刺激する講義、引き出しを増やす為の講義を企画致します。特別講義よりも講師との距離を近くし、より多くの作家や文化人、書籍・出版関係者の生の声をお聞き頂きたく、講師としてお招きします。(予定講師：作家・脚本家・構成作家・記者・編集者等)

【実施回数】春期4回・秋期4回を予定、各回昼クラス・夜クラスを開講予定

【受講対象】本科受講生・大学院受講生 ※専科のカリキュラムには含まれません。

●クラス編成・振替受講について

- ◆ いずれのクラスも、継続生とコース変更や進級で新たに入られる方が合同で学びます。(本科・専科では、新入生も受付致します) 複数クラスがあるコースについては、振替受講が可能です。また、本科・大学院・専科は重複して受講する事が出来ますが、大学院に関しては、一定基準を満たした方のみ受講頂けます。
- ◆ 進級・継続において、入学金は必要ありません。本科と専科の入学金は異なりますが、本科・大学院の受講生は、専科入学金は必要ありません。専科受講生が本科を受講する場合、入学金差額を申し受けます。

●本科について

本科には、5つのコースがあり、学びたい分野に応じたコースを選択頂く事が出来ます。
各コースの開講期間・講義回数・受講費用は共通です。

開講期間：春期 2022年5月～2022年10月 予定

※2022年秋期カリキュラムは、2022年11月からスタート致します。

講義回数：20回（各コースカリキュラム15回・特別講義と公開講座計5回）（90分/回）

受講料：96,000円（税抜） 教務・教材費：5,000円（税抜）…いずれも1コース選択の場合

※5回払いもご利用頂けます。※消費税・受講費用計については、P13～をご確認下さい。

※受講されるコース・クラスの担当講師以外への講評依頼は受付出来ません。

●本科の各コースについて ～担当講師の指導方法・内容～

本科：文章・エッセイ コース

Start 5/23（月）・5/28（土）

エッセイ、文章の上達を目的としたコースです。文章を楽しんで書く為の雑学や教養もプラスしましょう。
課題量は多くありません。ゆったりと楽しんで学びたい方にお勧めのコースです。

【開講曜日・時間】 月曜昼（14時）クラス、土曜昼（14時）クラス ※振替受講可

・ **担当講師：藤川ヤヨイ先生・古川嘉一郎先生・吉田はるみ先生 … 各5回**

藤川ヤヨイ 先生より/小説家

課題有・個別評有・講義内実習有

抽象的、あるいは概念的な文章論ではなく、具体的なお話をしたいと思います。原稿用紙を持って来ていただき、実践をして力をつけていただきたいと思います。

- ・ どうすれば読み手にわかりやすい文章が書けるか。
- ・ どう書けば読者の共感を得ることができるだろうか。
- ・ 情報を端的に伝えるにはどうしたら良いか。

古川嘉一郎 先生より/作家

課題有・講義内講評

いい文章を書くには豊かな感性が必要である。その豊かな感性を持つために、日頃からどんなことを心掛ければいいのかを考える。具体的に、いい文章の見本を示し、そのポイントを解説します。また、公募についてのアドバイスを行います。さらに、詩的な感覚（ポエジー）を養うため、詩作品の鑑賞も取り入れます。

吉田はるみ 先生より/翻訳家

課題有・講義内講評

自分の考えや思いを文章にして人に伝えるためには、約束事や守るべき注意点があります。また、エッセイを書くには、日ごろ何を感じ、考え、物事をどのように観察しているかということが大きく関わります。講座では、句読点、助詞、文末などのベーシックなことから確認しつつ、受講者の皆さんに書いていただいた文を合評・ディスカッション・添削する形で講義を進めます。事例や文例、私自身の経験談なども、必要に応じて紹介します。

✍ 事務局より ✍

良い文章やエッセイの見本を示しながら、各講師が文章・エッセイの書き方についてお話しします。
各講師より、2～3枚程度のエッセイ（主にテーマ指定）の課題指示があります。ほとんどの場合は受講生全員に作品配布し、講義内で講評を受けます。互いの作品を読み合い、講評を共有します。

作品提出の機会が多くあります。全ての課題を提出する必要はありませんが、プロ作家から直接に自作についてアドバイスを得られる機会ですので、出来る範囲でチャレンジして下さい。

【開講曜日・時間】 火曜 昼（14時）クラス、夜（19時）クラス ※振替受講可

・ 担当講師：増山実先生（講義回数：7回）・田中哲弥先生（5回）・蓮見恭子先生（3回）

増山実 先生より／小説家 **課題有・講義内講評・個別評有**

【増山先生の指導予定：与えられたテーマで5枚の作品を提出・人気投票なども】

私自身がどのように小説を書いたかの体験をふまえ、アイデアの掴み方と、それを物語としてどのように形にしていくのか、をお話しします。また、2回以降の講義では、毎回テーマを決めて課題を出し、次の講義での講評を予定しています。実作を重ねながら、創作の秘密を身に付けていきます。

田中哲弥 先生より／小説家 **課題有・講義内講評**

【田中先生の指導予定：50枚迄の完結作を提出・作品配布は指名された方の分のみ】

（例1：毎回10枚程度×4回で50枚迄の1作品／例2：30枚の作品と50枚の作品の計2作品 等）

実際に小説を書いていると、途中でこの作品はだめなのではないかと不安になったり、続きを書くのがむずかしくなって完結させられなかったりということがあられると思います。そういうときどうやって話を転がしていくか、どのように書けば楽しくなるかといった技術的なアドバイスを中心にやっていこうと思います。

蓮見恭子 先生より／小説家 **課題有・講義内講評**

NEW!

【蓮見先生の指導予定：与えられたテーマで10~20枚の作品を提出・全員配布・講義内講評】

最初は真似事でもいいから書いてみる。そして完成させたら読み返し、書き直す。そんな愚直な積み重ねの中から、見えてくるものがあります。

あなたの物語がより魅力的な小説になるように、共に考えましょう。

 事務局より 

毎年満席となる人気のコース・クラスで、2年連続で受講される方もあります。受講生の皆様の作品を教材としていますので、講義内容の重複がほとんどありません。増山先生の講義では、作品の人気投票を行う等、受講生間で感想を述べる機会もあります。秋期には、大学院の田中哲弥先生ゼミ、増山実先生ゼミがあり、継続して両先生の指導を受けて頂くことが出来る様になっています。今年度より蓮見恭子先生が講師陣に加わって下さいました。蓮見先生からの課題テーマにも期待しています。お楽しみに！

ドラマ脚本について学びます。ドラマ脚本のカリキュラムでは、企画を起す段階から脚本にするまでを、より掘り下げて学びます。面白いドラマとはどのような物か？を徹底追及していきましょう。

【開講曜日・時間】 月曜夜（19時）クラス

・ 担当講師：楠本ひろみ先生（講義回数：8回）・飯田健三郎先生（講義回数：7回）

楠本ひろみ 先生より／脚本家 **課題有・個別評有**

映画、テレビなどのドラマの脚本を、基礎から学ぶためのコースです。

シナリオを書く…映画やドラマは好きでも、実際にはシナリオを読んだことすらないという方にとっては、想像がつきにくいことかも知れません。小説とどう違うんだろう？自分に書けるんだろうか？そう不安を持つ方もいらっしゃるでしょう。

この講座では、初めての方にも気軽にシナリオに取り組んでいただけるよう、書き方の基礎から、実際

のシナリオ制作の手順に沿って指導していきます。すでに脚本を書いている方、実際に映像を撮影した方には、基礎からしっかり学び直していただくことによって、自作をブラッシュアップすることができます。また、プロならではの現場エピソードを交えて指導します。ブレークスルーを目指す方にとっては、新たな発見をする機会でもあります。

企画、アイデア出しから、アウトラインの書き方、プロット、構成、シナリオ、そして改稿までの講義を通じ、一本の映像作品を書いていただく事を目標とします。一通りの基礎を学ぶことができますので、オーディオドラマ、マンガ原作などに興味がある方も、まずはこのクラスを受講されては如何でしょうか。各人の進行状況をこまめにフォローしながら進みますので、興味を持たれた方はぜひチャレンジしてみてください。

飯田健三郎 先生より／脚本家 **課題有・講義内講評・個別評有**

映画会社やテレビ局でなくとも、ネットを通じて、誰もが、自由に、しかも全世界に向けて、自分のクリエイティビティを発信できる時代になりました。スマホで撮影したほんの数分の映像作品が世界的に評価されている例も少なくはありません。

あなたのアイデアが、大げさに言えば、世界を変えるかもしれません。でも、ただの思いつきでは、もしかしたら 100 人を感動させることはできるかもしれませんが、100 万、1000 万の人の心を打つことはむずかしい。やはりそこにはきちんとした「論理」が必要です。

映画、テレビドラマ、あるいは舞台での演劇作品においても、脚本を学ぶ目的はそこにあると、わたしは考えています。

事務局より

各講師より、課題指示がありますので提出して下さい。提出課題・脚本は基本的に全員に配布します。クラス内で講師からのアドバイスを共有します。小説と脚本では書き方が異なりますが、物語を創る点では同じです。創作の一つの方法として、脚本も学んでみてはいかがでしょうか。

本科：児童文学 コース

Start 5/28 (土)

春期では物語の創作について、秋期では絵本作家の視点から絵本の構成やキャラクター設定についても指導します。実習も盛り込みながら楽しく取り組んで頂けます。

【開講曜日・時間】 土曜朝 (11 時) クラス

・ 担当講師：藤田富美恵先生 (講義回数：7 回)・あんずゆき先生 (4 回)・北ふうこ先生 (4 回)

藤田富美恵 先生より／児童文学作家 **課題有・講義内講評**

児童文学作品においての、テーマ、モチーフ、起承転結、5W (Where (どこ)、Who (だれ)、When (いつ)、What (何)、Why (なぜ)) を踏まえた書き方から指導をします。短い作品から創作をはじめ、提出頂きます。提出作は、合評・講評します。より良い作品に仕上げる為の推敲についても、じっくりと指導します。公募への応募にも積極的に取り組みます。是非、チャレンジして下さい。

あんずゆき 先生より／児童文学作家 **課題有・講義内講評**

まずは、児童文学の基礎知識や物語の構成について講義します。以降は、毎回数名～5 名程度の方の提出作品を合評・講評します。提出作品は添削してお返ししますので、アドバイスを参考にしてブラッシュアップして下さい。個々のレベルや感性に合わせて作品指導を行いながら、皆さんに必要なこと、知っておいて頂きたいことなどをお話ししていきます。

北ふうこ 先生より／児童文学作家 **課題有・講義内講評**

初回は、児童文学を書くために必要な基礎知識について、以降の講義では、提出作品の講評を中心にお話します。一つ一つの作品を丁寧に拝見し、良い点、悪い点、改善点をできるだけ具体的にアドバイスします。合評形式でたくさんの方のご意見や質問にも答えながら、進めて行こうと思います。

各講師より、課題指示がありますので提出して下さい。枚数は受講人数により異なりますが、多くても 10 枚程度です。毎回全員が提出するのではなく、グループに分けて提出頂きます。各講師に 1 回は作品提出の機会があります。提出作は全員に配布し、講師からのアドバイスを共有します。また、互いに感想を述べあうこともあります。毎年、和気あいあいと楽しく創作に取り組む方が集まるクラスです。男性も是非どうぞ！

本科：ジャンル小説 コース ★受講タイプ：オンライン・ビデオ Start 5/28 (土)

ジャンル小説の基礎知識の習得から短編を書き上げる迄を、1年間で学びます。春期と秋期に、それぞれスタートクラスを設け、最初の半年間（Ⅰ）で基礎知識を学び、次の半年間（Ⅱ）で小説を仕上げます。

※ 両クラス、オンラインのみ（欠席時ビデオサポート有）です。心齋橋大学教室からのオンライン参加可。

【開講曜日・時間】 春期からの受講生（Ⅰクラス）は、土曜夕（16時）クラス
秋期からの継続生（Ⅱクラス）は、土曜昼（14時）クラス

・ 春期スタートクラスのカリキュラム 担当講師：田中啓文先生・牧野修先生

担当講師：田中啓文先生（8回）・牧野修先生（7回）

ミステリ・ホラー・ファンタジー・SF・時代小説等のエンターテインメント小説の書き方について、基礎知識の習得（講義）と演習（実作講評）を繰り返す為、講義と作品提出のバランスが良いカリキュラム構成です。ステップを着実に上がっていくことが出来ます。

・ 秋期より継続される方の為の「春期」カリキュラムの特徴

担当講師：田中啓文先生（8回）・牧野修先生（4回）・友野詳先生（ライトノベル講義／3回）

公募入選・デビューを目指し、応募や投稿の仕方についても指導します。プロット、キャラクター設定などの小説を書き上げる為のプロセスを順に確認しながら、講師指導のもと、50枚の短編小説を積み上げ形式で仕上げます。

田中啓文 先生より／小説家 **課題有・講義内講評**

いわゆるジャンル小説は、一般文芸や純文学と異なり、それぞれのジャンルに固定のファンがいます。たとえばミステリしか読まないとか、時代小説しか読まないといったうさぎの読者が相手なので、彼らを満足させ、納得させる書き方が要求されます。

この講座では、そんな読者を納得させるベーシックな部分から解説し、それを踏まえて、短編小説を一本仕上げるといった具体的な作業をやっていこうと思っています。

今、出版界には数多くの新人賞があり、ジャンル小説の作家としてデビューするには非常に恵まれた状況だと思います。しかし、新人賞に応募するには最低 50 枚の短編を書くことが必要です。目標は、最終回までに「新人賞に応募するレベルの 50 枚の短編を書き上げる」です。

皆さんが書きたいと思っているジャンルの作品を、段階をおって完成させましょう。ジャンル小説を書きたいと思っているかたはぜひご受講下さい。

牧野修 先生より／小説家 **課題有・講義内講評**

ホラー、ファンタジー、SF。どれも特有のお約束や決まり事がいろいろあります。それは、同時にジャンルの魅力でもあります。人を怖がらせたり驚かせたり、そこには娯楽小説の魅力が一杯詰まっています。小説の楽しみ方を知り、書くことも楽しむ。そんなことを講座では話していきます。ぜひ体験してみてください。

小説を書いたことが無い方もチャレンジしやすいコースです。エンタメ小説を書く為に必要な知識を惜しみなく伝授下さいます。また、小説の書き方についても実践的な指導が受けられます。小説コースを受講された方にも是非受講頂きたいコースです。書ける“幅”は広い方が良い！作品に新たなスパイスをプラス♪

●大学院について

本科の上位クラスとして大学院があります。大学院の各ゼミは完全担任制です。本科で様々な指導を受けて頂いたことで、ご自身の方向性も定まってこられるでしょう。書くことを更に深く学びたい、公募入選・プロデビューを目指したい方は、是非受講下さい。一度大学院に進級されても、本科のカリキュラムを受講頂くことが出来ます。また、本科・専科のカリキュラムは、大学院と並行して受講頂くことも可能です。

◎大学院の受講資格について

- ①大学院ゼミの同分野を本科で学ばれた方、②心齋橋大学で1年以上学ばれた方、に受講頂けます。
ただし、小説コースを受講された方は、大学院のエッセイゼミ（古川先生・武部先生）の受講が可能とします。詳しくは、スタッフにご確認下さい。

●大学院の概要

開講期間：2022年5月～2022年10月 予定 ◎2021年度秋期より大学院も半年制になりました
講義回数：11回～（各ゼミの講義6回、特別講義1回、◎公開講座4回）

◎1ゼミ受講の方は、公開講座4回のうち来校・対面受講で1回、オンライン3回で全4回を受講頂けます。
2ゼミ以上を受講の方は、全4回を来校・オンラインいずれでも受講可とします。

受講料：45,000円（税抜） 教務・教材費：3,000円（税抜） …いずれも1ゼミ選択の場合

※選択ゼミ数により、受講費用総額が異なります。※月払いもご利用頂けます。

※消費税・受講費用計については、P13～をご確認下さい。

※受講されるゼミの担当講師以外への講評・添削依頼の受付は出来ません。

●大学院のゼミ（クラス）紹介 ーゼミ・クラスをお選び下さい。2ゼミ程度の受講がお勧めです！

大学院：小説・エッセイ分野

●難波利三 先生ゼミ 【春】【秋】 Start 5/12（木）・5/14（土）
毎月第1 木曜昼（14時）クラス、土曜夕（16時）クラス ※振替受講可

【カリキュラム概要】創作（小説） 【受講対象】旧専門科、現創作・小説コースで1年間学ばれた方

- ・ 毎回、即席で与えられたテーマで書く。時間的、空間的に限られた状況で最大級の集中力と、全知全能の結集が必要となり、その繰り返しは創作力アップに繋がる。毎回完結でも、続編でも可。
- ・ 創作の書き出しと終わりの大切さを学ぶ。
- ・ 課題作以外の作品講評依頼（コンクール応募予定作など）については、ご相談下さい。

●丹波元 先生ゼミ 【春】【秋】 Start 5/19（木）・5/21（土）
毎月第3 木曜昼（14時）クラス、木曜夜（19時）クラス、土曜夕（16時）クラス ※振替受講可

【カリキュラム概要】創作（小説）・エッセイ

【受講対象】旧専門科、現創作・小説コースで1年間学ばれ、かつ丹波先生の指導を受けられた方

- ・ 毎回、与えられたテーマで、エッセイまたは小説を選択して期日までに課題提出。優秀と認められた作品を発表、講評する。
- ・ 文章の基本は、名作を読むことにある。名短編小説や名エッセイを教材として取り上げ、その解説を行う。読むべき名作をお教えします。
- ・ 課題作以外の作品講評依頼については、コンクール応募予定作のみ相談可。

●牧野修 先生ゼミ ★春期のみ開講のゼミです★

毎月第3 土曜夜(18時) クラス

Start 5/21(土)

【カリキュラム概要】創作(小説)(実作合評クラス)

【受講対象】旧専門科の小説分野、ジャンル小説コース又は創作・小説コースを受講された方、大学院小説ゼミに在籍されている方・されていた方 ◎牧野先生の指導を初めて受ける方も歓迎!

- ・各自、作品を提出。提出作品は、講師及び全受講生に配布。提出作に対し、講評・合評を行う。
- ・作品ジャンル及びテーマは自由。受講人数により、1回あたりの提出枚数等を適宜調整致します。
- ・基本的には、6回の講義のうちに1作を完成させること。(1作完成後は、2作目も可)
- ・皆さんの作品発表の場、プロから直接指導が受けられる、熱意溢れる場となることを目指します。それぞれの自由な発想で小説を書いて下さい。

●北野勇作 先生ゼミ ★春期のみ開講のゼミです★

毎月第4 木曜夜(19時) クラス

NEW!

Start 5/26(木)

【カリキュラム概要】創作(小説)(実作合評クラス)

【受講対象】旧専門科の小説分野、ジャンル小説コース又は創作・小説コースを受講された方、大学院小説ゼミに在籍されている方・されていた方 ◎北野先生の指導を初めて受ける方も歓迎!

- ・各自、作品を提出。提出作品は、講師及び全受講生に配布。提出作に対し、講評・合評を行う。
- ・作品ジャンル及びテーマは自由。1回あたり30枚迄(完結作)の提出可。
- ・合計枚数が30枚迄なら、1回に複数作の提出も可。
- ・自由に書いて下さい。書きながら、自分を掘って作っていく方法などをお話しします。

●古川嘉一郎 先生ゼミ 【春】【秋】

毎月第2 火曜朝(11時) クラス

Start 5/10(火)

【カリキュラム概要】エッセイ

【受講対象】旧専門科、現文章・エッセイコース又は創作・小説コースを受講された方、大学院小説ゼミに在籍されている方・されていた方 ◎古川先生の指導を初めて受ける方も歓迎!

- ・毎回、公募情報からピックアップし、課題とする。(講師が指定する5~6本の中から1つ、複数も可)課題作は当日、受講生全員に配布。
- ・各自、自作を読み上げ、講師がその内容や構成、文章表現についてアドバイスします。
- ・課題作以外の作品についても、気軽にも相談して下さい。形にとらわれず、意欲的に書きましょう。

●武部好伸 先生ゼミ ★春期のみ開講のゼミです★

毎月第1 金曜昼(14時) クラス

NEW!

Start 5/13(金)

【カリキュラム概要】エッセイ・文章上達

【受講対象】旧専門科、現文章・エッセイコース又は創作・小説コースを受講された方、大学院小説およびエッセイゼミに在籍されている方・されていた方 ◎武部先生の指導を初めて受ける方も歓迎!

- ・とにかく楽しく書くことをモットーに、作品指導をします。
- ・人に「伝わる」文章、エッセイを書くことを目指します。
- ・テーマ指定、自由、取材してみる……等、様々な「書く」に挑戦してみましょう。枚数目安は2~3枚ですが、課題によって調整します。
- ・課題作は、受講生全員に配布します。(事前提出・配布を予定)

大学院：脚本分野

●林千代 先生ゼミ 【春】【秋】
毎月第1 金曜夜（19時）クラス

Start 5/13（金）

【カリキュラム概要】脚本

【受講対象】旧専門科、現脚本コースで1年間学ばれ、かつ林千代先生の指導を受けられた方

- ・ 発想からプロット、シナリオ創作のプロセスを今一度復習しながら、プロットの書き方、人物の配置、魅力あるキャラとは、起承転結…を指導します。
- ・ 合評から書き直しのテクニック、アドバイス。面白くするコツ、魅力あるキャラ創り、ドラマをラストまで引っ張る構成の妙とは。テーマとアンチテーゼ、始めと終わりのドラマの合致の大切さを学ぶ。
- ・ 映像の特性を学び、最大限に生かすコツ。いかに書くか、書かないか！テクニックをトータルに学ぶ。
- ・ コンクール受賞へ向かって、してはいけない書き方、テーマの重要性、キャラの魅力の出し方を学ぶ。

●楠本ひろみ 先生ゼミ 【春】【秋】
毎月第3 金曜夜（19時）クラス

Start 5/20（金）

【カリキュラム概要】脚本

【受講対象】現脚本コースで1年間学ばれ、かつ楠本先生の指導を受けられた方

- ・ 基礎を復習しながら、企画からプロット、構成、脚本、改稿までを通して、作品を仕上げます。作品を上げることが出来ない方には、どこに問題があって前へ進まないのか、どこまでなら出来るのかを確認しながら、とにかく一本作品を完成させることを目指します。
- ・ コンクール入賞を目指す方には、企画について、「ただ自分が書きたいもの」だけではなく、その企画に新鮮味があるか、独自性があるかといった視点で企画立案ができるよう、「ネタを見る目」「ネタを育てる力」を意識するように促します。また、改稿する力（自作の欠点の気付き、コミュニケーション能力、改善点を作品に活かす能力）を伸ばすことを重点に指導します。
- ・ 映像作品に加え、ラジオなどのオーディオ作品、マンガ原作についても注意点を指導します。

大学院：児童文学分野

●あんずゆき 先生ゼミ 【春】【秋】
毎月第2 土曜昼（11時）

Start 5/14（土）

【カリキュラム概要】児童文学

【受講対象】旧専門科又は現児童文学コースで1年間学ばれ、かつ、あんず先生の指導を受けられた方

- ・ 本科同様、実作指導、合評・講評を行うクラスです。書き続けたい方、コンクールでの入賞を目指す方、出版したい方…、それぞれの目的と個性に合わせた指導を行います。
- ・ 基本的には、ご自身の書きたいテーマで書いて下さい。受講人数や作品の提出数、進捗を確認しながら、提出数や原稿枚数等も適宜調整していきます。無理なく続けましょう。
- ・ 定期的に校外学習やクラス内コンクール等のイベントも行っています。楽しいゼミです。

✎ 事務局より ✎

大学院のゼミは、春のみ開講、秋のみ開講、春も秋も開講…と様々です。上手に組み合わせ、お楽しみ下さい。いずれも月に1回の為、2つのゼミを受講されると、講義や作品提出の機会が月に2回、プラス公開講座が1回となります。本科よりも少し講義ペースが緩やかになり、じっくりと執筆頂けます。

●専科スクールのご紹介

本科・大学院とは別に開講する講座で、コースにより、受講期間・回数が異なります。本科・大学院と並行して受講頂く事が出来ます。説明会・体験授業へのご参加、資料をご希望の方は、スタッフにお申し付け下さい。※消費税・受講費用計については、P13~をご確認下さい。

専科：作詞家養成スクール ★受講タイプ：来校のみ

Start 5/18 (水)

「冬が来る前に」「翼をください」、おはよう朝日テーマソングとして親しまれた「朝（あした）の空」など、多くの名曲に携わってこられた後藤先生による直接指導が受けられます。

【開講曜日・時間】 第1・3水曜 18:30~20:20、1日2コマを実施

【開講期間】2022年5月~2022年10月 【講義回数】20回（50分/回）

【受講費用】受講料：55,000円（税抜） 教務・教材費：5,000円（税抜） ※5回払い可

※作詞家養成スクールは、来校受講のみです。

【後藤悦治郎先生 ご紹介】

1967年 平山泰代とデュエットを組む。1969年「赤い鳥」結成。1974年「紙ふうせん」結成。「竹田の子守唄」「翼をください」「紙風船」「冬がくる前に」等々のヒット曲の作詞・作曲・編曲、歌唱、と幅広く活躍する。テレビ、ラジオの番組テーマ曲、映画、ドラマの音楽制作多数。市町村のイメージソング、社歌、小学校から大学まで全国の校歌も多数制作している。

【カリキュラム】①~⑥を各4コマ実施予定。作詞・実作・添削を行います。

- ① 定型詩 -----和歌、連歌、俳句、川柳、都々逸、小唄について。
- ② ブレス -----詩の息つぎ、歌唱の息つぎについて。
- ③ 伝承歌 -----全国津々浦々で採集・採譜した「うた」の解説。背景を解説。
- ④ フォーグソング -----ボブディラン、P・P・M、サイモン&ガーファンクルなどについて。
- ⑤ 日本のポップス -----赤い鳥、紙ふうせん、阿久悠などについて。

✍ 事務局より ✍

「ことば」「詞」にこだわった講義、指導が受けられます。人情をどう「ことば」にのせるのか、人の心に染み入る「うた」「詞」が書きたい方、表現したい方は是非受講下さい。作詞が初めての方も心配ありません。講義内実習も多く取り入れています。課題作以外の指導も受けられます。

専科：放送作家養成スクール ★受講タイプ：来校・欠席ビデオ

Start 5/21 (土)

放送作家、イベントプロデューサーを養成、業界への就職を目指すコースです。現役の放送作家が直接指導し、業界デビューへとサポート致します。即戦力となるよう指導しており、受講生は次々とチャンスを手に入れています。※30歳ぐらい迄の方にお勧め致します。

【開講曜日・時間】 土曜 17時~、ほぼ毎週の開講を予定

【開講期間】2022年5月~2022年10月 【講義回数】20回（90分/回）

【受講費用】受講料：100,000円（税抜） ※5回払い可

※欠席時のビデオ受講対応

✍ 事務局より ✍

関西最大手の「自由本舗」の代表や在籍作家陣が指導にあたります。在学中から企画を提出し、ミーティング形式で発想力と企画力を磨きます。現場見学や実習も取り入れながら、業界の「今」の情報をお伝えします。業界内では、人のつながりが仕事の獲得につながります。心齋橋大学の放送作家養成スクールは、先輩と仲間を見つける場となります。

専科：自分史制作スクール Start 随時 ◎執筆依頼のプランについても、ご相談下さい。

自分史を執筆する為のコースです。マンツーマン指導で自分史の執筆をサポート致します。
章ごとに執筆、添削・講評を受けながら、自分史を完成させ、製本・出版致します。
自分史以外のビジネス書、ハウツー本等も読みやすい文章となるよう、指導しますのでご相談下さい。

【開講曜日・時間】 随時 執筆スタート後は月に1度ぐらいのペースで面談・指導

【開講期間】執筆ペースにより異なる 【講義回数】12回（目安、追加可）

※オンライン受講については、ご相談下さい。

◎初回講義から出版迄にかかる期間約12カ月の例

- ①自分史執筆に関する講義（2回）… 約1カ月
- ②添削指導（8回）… 約8カ月（執筆ペースにより異なる）
- ③製本・出版に関する講義（2回）※出稿（校了）から出版迄にかかる期間…約3カ月

【受講費用】受講料：148,000円（税抜）／教務・教材費：2,000円（税抜）※製本費用は別途要

◎製本・出版費用例：ソフトカバー仕上げ、216ページ、150冊…680,000円

専科：開高健 文章の世界 ～開高健の考察力と切り口を学ぶ～ Start 6/1（水）

開高健の生誕90周年を記念して、2021年6月に開講・実施した講座のVersion2です。Version1を受講されていなくても問題ありません。もちろん、Version1を受講頂いた方にもご満足頂けるカリキュラムです。皆様の受講をお待ちしております。

【開講曜日・時間】 月に1回、第1水曜 14:00～16:00、1日2コマを実施

【開講期間】2022年6月～2022年10月 【講義回数】10回（50分/回）

【受講費用】受講料：33,000円（税抜）／教務・教材費：3,000円（税抜）

本科・大学院受講生・修了生 計36,000円⇒31,000円（税抜）※オンライン&ビデオ受講対応

講師：坪松博之／1983年サントリー株式会社に入社。広報室に配属され、サントリーのPR誌「サントリークォーターリー」の編集担当として開高健との仕事を始めるようになる。初顔合わせの時に開高から「モテまっちゃん」と名付けられ、原稿やゲラのやりとりなどで茅ヶ崎に足繁く通うようになった。開高が集英社の仕事用として都内の常宿としていた都ホテル、TBSブリタニカ社内にあった開高ルームにも頻りに顔を出し、一ヶ月に一度、東京の新しい酒場業態を案内する潜伏ナイトツアーを行うなど昼夜共に親交を深めた。スリランカ帰国後には、宝石、カレー、紅茶の知識を開高が関係者に披露する会を開催し、開高健主催「ボジョレーヌーボーの会」の準備事務方も担当した。

2021年まで、公益財団法人開高健記念会理事を務め、茅ヶ崎「開高健記念館」での展示企画を担当。著書『壽屋コピーライター開高健』（たる出版 2014年）『Y先生と競馬』（本の雑誌社 2017年）
東京都生まれ・早稲田大学政治経済学部政治学科卒業・武蔵野美術大学芸術文化学科卒業

【カリキュラム】1日2コマ（回）を実施します

●第1日（開高文学の出発点）／第1回 アラゴンと開高健 第2回 宣伝文案と開高健

小説家になることを目指しながら、文学青年開高健は谷沢永一主宰の「えんぴつ」の同人として加わり、大阪市大卒業後、壽屋でコピーライターとして働きました。開高健が文壇デビュー前にどのような「修業時代」を送ったか、そのプロセスをたどります。

●第2日（開高文学のタネ）／第3回 旅と開高健 第4回 宝石と開高健

旅に出ることにより開高健は創作のきっかけを手に入れました。遺作『珠玉』は旅の中で出逢った「宝石」により導き出された作品です。開高健が旅で得た題材とどう向き合うことによって作品を生み出してきたかを明らかにします。

●第3日（開高文学の本質）／第5回 ヴェトナムと開高健① 第6回 ヴェトナムと開高健②

1964年から65年にかけて過ごした南ヴェトナムでの100日間が、開高文学の方向性を規定しました。開高健が南ヴェトナムで何を見て、何を感じ、そして生涯をかけて何を描こうとしてきたか、その実像を探ります。

●第4日（開高文学の混沌）／第7回 女性と開高健① 第8回 女性と開高健②

『輝ける闇』以降、開高健は自分の内面をたどる創作アプローチをはじめます。そのことにより新たに強い存在感をもって登場するのが女性たちです。開高健はどのように女性を描き、それは開高健にとってどのような意味を持つか考察を進めます。

●第5日（開高文学の原風景）／第9回 飢え・焼跡と開高健 第10回 大阪と開高健

開高文学の出発点は少年時代の「飢え」にあります。小説家・開高健を生み出したのは大阪の焼跡です。『日本三文オペラ』『青い月曜日』、大阪を舞台とした小説を取り上げながら、開高健の大阪観を浮彫りにします。

✎ 事務局より ✎

開高健と深い交流のあった坪松氏による、開高健の執筆に対する姿勢や様子、豊富な資料に基づく作品解説は大好評でした。一人の文筆家の生涯と作品を紐解くことは、皆様の執筆にも大いに役立つはずですが、何より、仲間と共にじっくりと作品を読み、語り合うことは贅沢な時間となるでしょう。

課題ではありませんが、教材として使用した開高作品や、文章に対する自身の解釈や質問などの提出も受付致します。事務局を通じて、講師からのお返事をお渡し致します。

●その他、お願い・ご案内事項 *受講のお申込み前に、下記を確認・ご了承下さい。*

- ◆ 講義スケジュールは、4月中旬から末迄にお配り致します。初回講義日は、本紙をご確認下さい。
- ◆ 各コース、クラス、ゼミには、最低開講人数（目安人数：5名）を設けております。残念ながら達しない場合は、開講致しませんのでご了承下さい。
- ◆ 担当講師およびカリキュラム・講義回数・開講期間は予定です。事情により変更することがあります。
- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、講義の実施方法を変更することがあります。
- ◆ オンライン受講・ビデオ受講の際のインターネット環境やデバイスの準備、利用にかかる通信費等の費用は各自のご負担となります。
- ◆ 心齋橋大学のメールアドレス (@shinsaibashi-daigaku ドメイン) から、教材データの配信や、様々なご連絡を致しますので、必ず受信頂けるように設定しておいて下さい。
- ◆ 課題作品については、締切日迄に事務局に提出下さい。メール添付・受付への提出、郵送、FAX、いずれでも受付致します。郵送については、締切日迄に事務局に到着するようにお送り下さい。
- ◆ 作品講評の多いクラスについては、コースメンバーページから閲覧・ダウンロードすることが出来るようにする予定です。コースメンバーページを開設したコースについては、開講時にご案内致します。

事前配布の課題作を含む教材については、ペーパーレス化を進める為、データ配信を基本と致します。受講当日に教室にお越しの方には、プリントアウトした物をお渡し致します。

オンライン受講・ビデオ受講（欠席時含む）下さる方は、配信データ（メール添付・心齋橋大学のホームページにアップ）をご利用下さい。※郵送希望の方は、申込書にご記入下さい。郵送希望の場合、枚数の多い物については郵送致します。ただし、昨今の郵送事情の変化により講義日までの到着をお約束出来ませんので、ご了承下さい。

*** 心齋橋大学 2022 年度春期 受講費用と講義回数 ***

- ・ ご希望の受講内容については、確認書に明記して下さい。確認書のご提出と費用のお支払いは、前後しても結構です。必ず受講生様フルネームでお振込下さい。
- ・ 専科受講生の方が本科コースを受講される場合、入学金差額 11,000 円（税込）を申し受けます。（専科開高健文章の世界 修了生の方は、入学金 16,500 円が必要です。）下記に追加してお支払下さい。月払いの方は、1 回目と合わせてお支払下さい。

お支払いは、4月25日迄にお願いします*月払いと比べ5,000円~10,000円お得です

本科 コース	期間と回数	一括払い
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章・エッセイ ・ 創作・小説 ・ 脚本 ・ 児童文学 ・ ジャンル小説Ⅰ・Ⅱ 	受講期間：半年 各コースカリキュラム講義：15 回 公開講座：4 回／特別講義：1 回 全講義回数計：20 回	受講料： 96,000 円 教務・教材費： 5,000 円 消費税： 10,100 円 一括払い（税込計）：111,100 円

大学院 ゼミ	期間と回数	一括払い
<ul style="list-style-type: none"> ・ 難波先生（小説） ・ 丹波先生（小説・エッセイ） ・ 牧野先生（小説） ・ 北野先生（小説） ・ 古川先生（エッセイ） ・ 武部先生（エッセイ） ・ 林千代先生（脚本） ・ 楠本先生（脚本） ・ あんず先生（児童文学） 	<p align="center">受講ペース👍 おすすめです！</p> ●2つのゼミを選択した場合 受講期間：半年 各ゼミ担当講師による講義：12 回 公開講座：4 回／特別講義：1 回 全講義回数計：17 回	受講料： 72,500 円 教務・教材費： 4,000 円 消費税： 7,650 円 一括払い（税込計）：84,150 円
	●1つのゼミを選択した場合 受講期間：半年 各ゼミ担当講師による講義：6 回 公開講座：4 回／特別講義：1 回 全講義回数計：11 回	受講料： 45,000 円 教務・教材費： 3,000 円 消費税： 4,800 円 一括払い（税込計）：52,800 円

専科スクール／期間と回数	一括払い
放送作家養成スクール 受講期間：半年／20 回	受講料：100,000 円／消費税：10,000 円 一括払い（税込計）：110,000 円
紙ふうせん後藤悦治郎 作詞家養成スクール 受講期間：半年／20 回	受講料：55,000 円／教務・教材費：5,000 円 一括払い（税込計）：66,000 円
自分史制作スクール 受講期間：半年～1 年／12 回 ※内容・執筆スピードにより異なる	【執筆プラン】 ※月払いについては、ご相談下さい。 受講料：148,000 円／教務・教材費：2,000 円／消費税：15,000 円 一括払い（税込計）：165,000 円
開高健 文章の世界 受講期間：半年／20 回	受講料：33,000 円／教務・教材費：3,000 円／消費税：3,600 円 一括払い（税込計）：39,600 円★本科・大学院受講生・修了生 34,100 円

*** 月払い予定表 * 1回目のお支払は、4月25日迄にお願いします***

本科 コース	回数	お支払い期日	お支払い税込額
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文章・エッセイ ◆ 創作・小説 ◆ 脚本 ◆ 児童文学 ◆ ジャンル小説Ⅰ ◆ ジャンル小説Ⅱ 	1回目	2022年4月25日	28,600円
	2回目	2022年5月28日	22,000円
	3回目	2022年6月28日	22,000円
	4回目	2022年7月28日	22,000円
	5回目	2022年8月28日	22,000円

受講ペース👉 おすすめです!

大学院 ゼミ 【2ゼミ選択】	回数	お支払い期日	お支払い税込額
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 難波先生 (小説) ◆ 丹波先生 (小説・エッセイ) ◆ 牧野先生 (小説) ◆ 北野先生 (小説) ◆ 古川先生 (エッセイ) ◆ 武部先生 (エッセイ) ◆ 林千代先生 (脚本) ◆ 楠本先生 (脚本) ◆ あんず先生 (児童文学) 	1回目	2022年4月25日	19,250円
	2回目	2022年5月28日	17,600円
	3回目	2022年6月28日	17,600円
	4回目	2022年7月28日	17,600円
	5回目	2022年8月28日	17,600円

大学院 ゼミ 【1ゼミ選択】	回数	お支払い期日	お支払い税込額
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 難波先生 (小説) ◆ 丹波先生 (小説・エッセイ) ◆ 牧野先生 (小説) ◆ 北野先生 (小説) ◆ 古川先生 (エッセイ) ◆ 武部先生 (エッセイ) ◆ 林千代先生 (脚本) ◆ 楠本先生 (脚本) ◆ あんず先生 (児童文学) 	1回目	2022年4月25日	14,300円
	2回目	2022年5月28日	11,000円
	3回目	2022年6月28日	11,000円
	4回目	2022年7月28日	11,000円
	5回目	2022年8月28日	11,000円

※専科の月払いについては、次ページをご覧ください。

- ・ 本科の複数コース受講、本科と大学院の組合せ、大学院3ゼミの組み合わせや、ゼミ追加の費用については、スタッフにご確認下さい。受講回数が増えるほど、お得な費用設定でご案内しております。
- ・ 専科スクールを合わせて受講される場合は、受講費用をそのまま加算して下さい。(専科スクール組み合わせた月の月払いについては、別途ご案内致しますので、お申し付け下さい。

【振込先】三菱UFJ銀行／心齋橋支店／普通 4873397 (名義：心齋橋大学)

※受講生フルネームでお振込み下さい。※お振込手数料はご負担願います。

専科スクール	回数	お支払い期日	お支払い税込額
◆ 放送作家養成 スクール ※本科受講生・大学院受講生は、入学金不要です	1回目	2022年4月25日	27,500円
	2回目	2022年5月28日	22,000円
	3回目	2022年6月28日	22,000円
	4回目	2022年7月28日	22,000円
	5回目	2022年8月28日	22,000円
◆ 作詞家養成 スクール ※本科受講生・大学院受講生は、入学金不要です	1回目	2022年4月25日	18,700円
	2回目	2022年5月28日	13,200円
	3回目	2022年6月28日	13,200円
	4回目	2022年7月28日	13,200円
	5回目	2022年8月28日	13,200円

【 振込先 】 三菱 UFJ 銀行／心齋橋支店／普通 4873397 (名義：心齋橋大学)

※受講生フルネームでお振込み下さい。※お振込手数料はご負担願います。

受講のお手続き・ご登録内容確認のお願いについて

本科、大学院、専科スクールと様々なコース・クラスが御座います。
組み合せての受講も可能ですので、スタッフにお気軽にご相談下さい。
ご相談は、来校・お電話・メールにて随時対応致します。

1. 受講に関するご相談 **教室見学・オンライン見学**

来校：月～土 12時～19時の間で随時、講義前後はご予約頂くことをお勧め致します。
TEL：月～土 12時～19時 担当スタッフ不在の場合は、折り返しお電話致します。
MAIL：随時お返事致します

体験受講・見学をご希望の方は、可能日時をご案内致しますので、お問い合わせ下さい。
本科コースについては、体験ビデオの配信も致します。
大学院ゼミについては、オンラインでの体験受講も受付致します。(進級資格のある方、2ゼミ迄)

2. 登録内容・受講内容確認書のご提出 **4月15日(金)迄**

登録内容・受講内容確認書の必要事項にご記入の上、スタッフにご提出下さい。
※FAX、メール添付(PDF)、フォーム送信(心齋橋大学HP)でも受付致します。

●フォーム送信でのお手続き(右のQRコードからもアクセス出来ます)

<https://www.shinsaibashi-daigaku.jp/request-3>



春期のコース・クラスの申込受付は4月15日(金)迄で一旦締切致しますが、満席クラス以外については、以降のお手続きについても受付致しますので、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、教室の収容人数の7~8割を満席として募集致します。
お早目にご相談、お手続き下さい。

3. 費用のお支払い **4月25日(月)迄**

P13~の受講料一覧をご確認の上、お振込下さい。お振込み確認を持ってお席を確保致します。
月払いをご希望の方は、4月25日迄に月払い1回目分をお振込下さい。(2回目以降は毎月28日迄)

●ご連絡・お問い合わせ先 心齋橋大学 事務局 大阪市中央区南船場3-11-18 郵政福祉心齋橋ビル2F

受講に関するご相談受付時間：月～土 12時～19時(担当：大出・島谷・平山・内山)

TEL : 06-6252-7000 / FAX : 06-6252-7222
MAIL : info@shinsaibashi-daigaku.jp